

数A 黄チャート

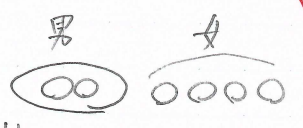
1-1 作成例

問題番号は□で囲って見やすく!!

基 34 男2人 女4人

(1) 全事象は 6! 通り

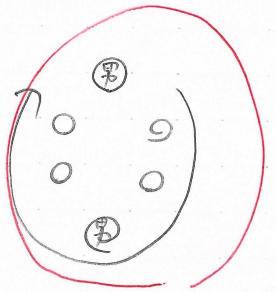
男子2人を1組とすると  
その並べ方は 5! · 2 通り



よって 求める確率は  $\frac{5! \cdot 2}{6!} = \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$

(2) 全事象は (6-1)! = 5! 通り

男子2人が向かい合うとき  
男子で回転は固定球から  
残りの女子の並べ方は 4! 通り



よって 求める確率は  $\frac{4!}{5!} = \frac{1}{5}$

途中の考えをまとめてしっかり書く!!  
(数式だけ5列しない)

※1-1を半分に折って使う人がいすか、あまりおススメはしません。

考えるときは使った図も消さずに残しておく!!

基 35 白5個 赤n個 → 同時に2個とる

(1) n=3 のとき  
全事象は  ${}^8C_2$  通り

注) 1-2は便宜上がよいかも

よって 白・赤1つずつと出すのは  ${}^5C_1 \cdot {}^3C_1$  通り

よって  $\frac{{}^5C_1 \cdot {}^3C_1}{{}^8C_2} = \frac{5 \cdot 3}{4 \cdot 7} = \frac{15}{28}$

省略 ↓

${}^8C_2 = \frac{8 \cdot 7}{2 \cdot 1} = 4 \cdot 7$

※つめて書かずにスペースを十分に使って見やすい解答を作る!!

数I 黄チャート

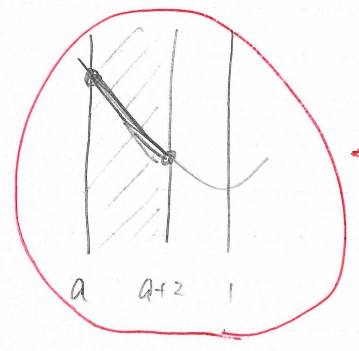
1-1 作成例

基 63  $f(x) = x^2 - 2x + 2 = (x-1)^2 + 1$

(定)  $a \leq x \leq a+2$

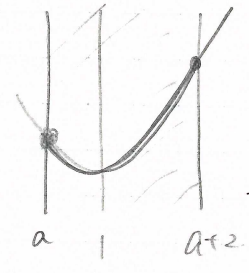
(i)  $a+2 < 1$   
つまり  $a < -1$  のとき

$x = a+2$  で  
最小値  $f(a+2) = a^2 + 2a + 2$



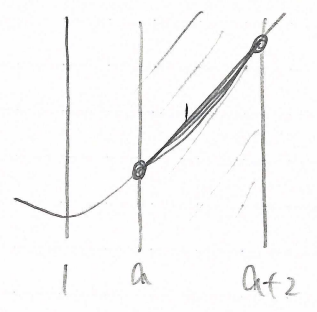
必要なグラフや図を書く!!

(ii)  $a \leq 1 \leq a+2$   
つまり  $-1 \leq a \leq 1$  のとき  
 $x = 1$  で 最小値 1



※つめて書かずにスペースを十分に使って見やすい解答を作る!!

(iii)  $1 < a$  のとき  
 $x = a$  で 最小値  $f(a) = a^2 - 2a + 2$



(i) ~ (iii) より

結論をまとめる

$a < -1$ のとき	$x = a+2$ で 最小値 $a^2 + 2a + 2$
$-1 \leq a \leq 1$ のとき	$x = 1$ で 最小値 1
$a > 1$ のとき	$x = a$ で 最小値 $a^2 - 2a + 2$

※この問題だけで「1-1」を使っています。必要なところを書けば「1-1」を使うのは当然です。